



東北大学病院

# 初期臨床研修プログラム 2023



## ご挨拶

東北大学病院 病院長  
富永 悌二



東北大学病院は、国内で最も古い歴史を持つ大学病院の一つとして、「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」の基本理念の下、医療技術の開発や安心・安全な医療の提供に力を尽くすとともに、大学病院の使命である優秀な医療人の育成に病院一丸となって取り組んでいます。2018年には世界最高水準の医療機器を導入した先進医療棟がオープンし、機能性と安全性を高度に両立する先端医療を皆さんに実践いただくことが可能となりました。また本学建学以来「門戸開放」をモットーとしており、様々な出身大学のたくさんの研修医の方々が本院のプログラムで研修を行っております。これからも魅力ある研修環境を提供するとともに、病院全体で研修医の皆さんのサポートを行って参ります。より多くの皆さんのお越しをお待ちしております。

卒後研修センター長  
石田 孝宣



東北大学病院では、医師としてのスタートとなる重要な時期に、充実した研修が行えるよう万全の準備を整えて皆さんをお待ちしております。大学病院の特徴を活かし、一般的な疾患と希少な疾患の双方を学ぶことができるよう、東北地方を中心に関東を含めて約120病院と連携しています。また、当院は44の診療科を有し、450名を超える専門医・指導医が勤務しているため、幅広い領域を基礎から専門的な内容までしっかりと学ぶことができる優れた研修環境が構築されています。さらに、卒後研修センタースタッフによる充実したサポート体制により、安心して研修に取り組める環境を整えています。2022年度からは、東北大学独自の選択研修プログラムとして、AI技術を活用して医療情報解析の基礎を学ぶことができる診療情報処理研修を新設するなど、将来につながる取り組みも行なっています。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。



2022年度1年目研修医

### 多様性と柔軟性を 持つプログラム

2年間のうち最大で10ヶ月間の自由選択期間があり、将来の目標に合わせた研修スケジュールを柔軟に組み立てることができます。将来志望する科が決まっている場合には、自分の進みたい診療科及び関連の深い診療科で重点的に研修を行うことで、専門知識の早期習得が可能となり、初期研修修了後のスタートをより早く切ることができます。志望科が決まっていない場合でも、当院には全ての領域の診療科が揃っているため、じっくりと将来の方向性を定めていくことができます。

### 充実した救急研修

スタッフ、設備共に全国有数の規模を誇る当院の高度救命救急センターで、1次から3次までの多彩な症例を経験することができます。高度救命救急センターには、CTによる診断と手術や治療を同時に行えるハイブリッドERが設置され、最先端の重症初期診療を経験できます。2年間を通じて行う救急当直も、豊富な臨床経験を持つ救急専門医の適切な指導の下で安心して行っていただけます。救急研修時に不可欠なBLS、ACLS講習をプログラムに組み込み、受講時の講習料は当院が負担します。



### 将来のキャリアアップに直結

初期研修修了後の進路として、より深い専門性を磨くための専門研修や、世界水準の研究ができる大学院への進学など、その後の生涯研修がシームレスに繋がる環境を整えています。新専門医制度における19の基本領域すべてにおいて専門医資格を取得できる基幹型専門医研修プログラムを整備・運用しており、初期研修から専門研修への移行もスムーズに行っていただくことが可能です。

### 診療情報処理研修を 選択科目に新設

2022年度より、AI技術の医療への活用を学ぶ「診療情報処理研修」を自由選択科目として研修することが可能になりました。当院で進めているClinical AIの枠組みを活用し、プログラミング言語の基礎から実践的な医療データ解析、放射線画像などの医療データに対する画像処理やAI画像診断などのハンズオン学習を行うことが可能です。

医療情報をデータ科学の見地から取り扱うことのできる医師は今後必要不可欠であり、当院では一早く初期臨床研修に取り入れました。



# プログラム紹介

## 1 | 自由選択プログラム

本院の各診療科と併せて、豊富な協力病院・施設の中から診療科単位で研修先を選択できます。最大10ヶ月間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能なプログラムです。



### スケジュール例

#### ▶1年目



#### ▶2年目



■ 東北大学病院（本院） ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目（内科研修可能な協力病院でも可）
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	1ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大10ヶ月（地域医療と一般外来を同時期に研修した場合） 本院のほか協力病院・施設から自由に選択が可能		

## 2 | 小児科・産婦人科プログラム

将来小児科医または産婦人科医を志望する方の最初のステップとして、小児科、産婦人科の強力なサポートのもと、充実した臨床研修を行うことが可能なプログラムです。



### スケジュール例

#### ▶1年目



#### ▶2年目



■ 東北大学病院（本院） ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目（内科研修可能な協力病院でも可）
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	1ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	小児科選択者は、1年目4-5月に小児科にて研修
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大10ヶ月（地域医療と一般外来を同時期に研修した場合） 本院のほか協力病院・施設から自由に選択が可能		

### 3 | 地域医療重点プログラム

宮城県の地域医療の拠点である3次救急施設(右記\*の中から選択)で8-10ヶ月、2次救急施設(右記\*\*の中から選択)で4-6ヶ月行い、この期間は、宮城県医学生修学資金制度の義務履行期間とみなされます。

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目(内科研修可能な協力病院でも可)
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	2ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大9ヶ月(地域医療と一般外来同時期に研修した場合) 本院のほか3次救急施設*、2次救急施設**、その他協力施設 * 石巻赤十字病院、みやぎ県南中核病院、大崎市民病院 ** 気仙沼市立病院、登米市立登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、公立刈田総合病院		

#### スケジュール例

##### ▶1年目



##### ▶2年目



■ 東北大学病院(本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択

### 4 | 基礎研究医プログラム

基礎医学の研究に意欲があり、基礎医学系の大学院に入学する医師を対象に、臨床研修と基礎医学研究を両立するための基礎研究医養成・研修コースです。

本院の各診療科での臨床研修と併せて、大学院に入学し、基礎医学系分野に所属して研究を行いながら、高度の医療を担う本院と地域医療を担う臨床研修協力病院・施設で研修を行います。基礎医学系分野での研究期間は、2年目に4-6ヶ月間を必修期間として充てます。

医師臨床研修マッチング協議会のマッチングとは別枠で募集しますので、本プログラム申し込みにもマッチング参加登録は不要です。

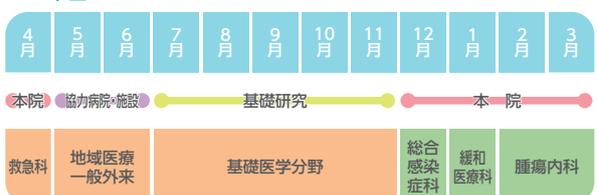
必修科	内科	6ヶ月	原則1年目(内科研修可能な協力病院でも可)
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	1ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大6ヶ月(地域医療と一般外来研修を同時期に研修した場合) 本院のほか協力病院・施設から自由に選択が可能		

#### スケジュール例

##### ▶1年目



##### ▶2年目



■ 東北大学病院(本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 基礎研究 ■ 必修 ■ 自由選択

## 連携病院・施設一覧

様々な規模の協力病院・施設と緊密に連携し、施設それぞれの役割に応じた研修を行うことができます。大学病院と協力病院との異なる性格を持つ施設で研修することで、幅広い経験を積むことが可能です。

都道府県	名 称
北海道	◎公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院
青 森	◎八戸市立市民病院 ◎下北医療センター 国保大間病院 ◎三戸地方保健所（三八地域県民局地域健康福祉部保健総室） ◎田子町国民健康保険町立田子診療所 ◎国民健康保険 南部町医療センター ◎三戸町国民健康保険三戸中央病院 ◎青森県立中央病院 ◎十和田市立中央病院 ◎国民健康保険 五戸総合病院 ◎独立行政法人国立病院機構 八戸病院
岩 手	◎岩手県立中央病院 ◎岩手県立胆沢病院 ◎岩手県立南光病院 ◎岩手県立磐井病院 ◎岩手県立大船渡病院 ◎岩手県立宮古病院 ◎岩手県宮古保健所 ◎宮古市国民健康保険田老診療所 ◎独立行政法人国立病院機構花巻病院 ◎奥州市総合水沢病院 ◎岩手県立高田病院 ◎特別養護老人ホーム高寿園 ◎岩手県立遠野病院 ◎北上済生会病院 ◎独立行政法人国立病院機構 岩手病院 ◎岩手県立中部病院
宮 城	◎独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター ◎独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 ◎仙台市立病院 ◎公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 ◎東北医科薬科大学病院 ◎大崎市民病院 ◎大崎市民病院 岩出山分院 ◎石巻赤十字病院 ◎社会医療法人将道会 総合南東北病院 ◎地方独立行政法人 宮城県立こども病院 ◎独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 ◎医療法人徳洲会仙台徳洲会病院 ◎一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院 ◎一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 ◎公立刈田総合病院 ◎気仙沼市立病院 ◎大友医院 ◎医療法人尚仁会 森田医院 ◎石巻市立病院 ◎みやぎ県南中核病院 ◎みやぎ県南中核病院附属村田診療所 ◎仙台赤十字病院 ◎公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 ◎丸森町国民健康保険丸森病院 ◎宮城県立がんセンター ◎JR 仙台病院 ◎宮城県立精神医療センター ◎独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 ◎公益財団法人宮城厚生協会 長町病院 ◎一般財団法人広南会広南病院 ◎青葉病院 ◎東北公済病院 ◎栗原市立栗原中央病院 ◎栗原市立若柳病院 ◎栗原市立栗駒病院 ◎令和クリニック ◎登米市立登米市民病院 ◎登米市立豊里病院 ◎女川町地域医療センター ◎宮城県赤十字血液センター ◎東北会病院 ◎宏人会 木町病院 ◎東北医科薬科大学病院 若林病院 ◎仙台往診クリニック ◎涌谷町町民医療福祉センター ◎光ヶ丘スペルマン病院 ◎いずみの杜診療所 ◎仙台市健康福祉局保健衛生部 仙台市生出診療所 ◎気仙沼市立本吉病院 ◎イムス明理会仙台総合病院 ◎土橋内科医院 ◎南三陸病院 ◎医療法人 岡部医院仙台 ◎こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ ◎東北福祉大学せんだんホスピタル ◎さざんか往診クリニック ◎やまと在宅診療所登米 ◎やまと在宅診療所大崎 ◎南桜ホームケアクリニック ◎大泉記念病院 ◎あんどクリニック ◎あいのもりクリニック ◎じょうなんファミリークリニック
秋 田	◎秋田県厚生農業協同組合連合会由利組合総合病院 ◎秋田県厚生農業協同組合連合会平鹿総合病院 ◎秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター ◎秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院 ◎市立角館総合病院
山 形	◎山形県立中央病院 ◎山形市立病院済生館
福 島	◎いわき市立いわき市医療センター ◎一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 ◎針ヶ丘病院 ◎医療法人 のぞわ内科クリニック ◎いがらし内科外科クリニック ◎やまさわ内科 ◎附属南東北医療クリニック ◎矢内クリニック ◎いしだ内科 ◎医療法人健生会 おおがクリニック ◎モミの木クリニック ◎雷クリニック ◎南東北第二病院 ◎公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 高田厚生病院 ◎福島県赤十字血液センター ◎福島県南保健福祉事務所 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 鹿島厚生病院 ◎公立相馬総合病院
茨 城	◎独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

## 研修医の声

当院の研修医は出身大学も多彩で過去に企業で勤務していた方や家庭を持っている方など多様な背景があり、他大出身の私でも不安なく研修できています。

当院は病院の性質上、一般的疾患を診る機会は外より少ないですが、診療科の数や扱う症例が幅広く専門的な医療を経験できる点が強みであると感じています。

また上級医が指導に慣れていることや図書や論文へのアクセスが良いことも強みであり、指導医のサポートのもと学会発表をしている研修医も数多くいます。

当院での研修プログラムの特徴としては自由選択の期間が長い事、また最大14ヶ月使える『たすきがけ制度』を利用して、1年目の夏から協力病院での研修を行える点や、希望する診療科のみ1ヶ月間の研修も可能な点など、他と比べてもかなり融通がきくスケジュール調整を行って頂ける事が挙げられます。同じ診療科を長く回りたい方や色々な病院で研修をしたい方には大変良い制度だと感じています。



2年目研修医  
小松 凜太郎

## 修了者の声

東北大学病院の初期研修は、日常診療のなかで「自分で考える」機会が多くあり、指導医からの的確なフィードバックがあるため自分が成長していることを実感することができました。研修中は各科の最前線で活躍する先生方の、エビデンスに基づいた診療を日々目の当たりにすることで、自ずとその姿勢が身につく、専攻医となった現在も治療方針を決めるうえで活かされていることを実感しています。救急研修では、初期治療から集中治療までの一貫した診療を、救急科専門医や集中治療専門医のもとで学ぶことができ、最重症患者の厳しい治療現場に身を置いて治療に携わることができたため、どのような場面でも動じずに対処できる力が身につきました。

東北大学病院を研修先を選んだのは、志望科を先に回れることが魅力的だからという理由でしたが、専攻医となった今振り返ってみると、数歩先を歩いているような自信が持てる充実した研修ができたと思っています。



2020年度修了者  
東北大学病院  
整形外科専攻医  
鯉淵 優介



## 募集要項

当院での研修をご希望の方は、下記の募集要項をご確認の上ご応募ください。

### 募集定員

自由選択プログラム……………30名  
小児科・産婦人科プログラム…4名  
地域医療重点プログラム ……4名  
基礎研修医プログラム……………2名

### 募集資格

マッチング対象者(基礎研修医プログラムはマッチング対象外)

### 選考日

8月～9月 日程が決まり次第HPに掲載。  
左記以外でも病院見学時に随時受験が可能です。  
(マッチング対象者)

### 選考方法

面接試験

### 応募書類

卒後研修センターへ以下の書類を提出  
①初期研修医臨床研修申請書\*  
②履歴書(写真貼付)\*  
③自己PR表\*  
④卒業見込み証明書(医学部卒業見込み者)  
⑤共用試験(CBT)成績表の写し  
⑥成績証明書  
上記の応募書類を簡易書留にてお送りください。  
なお、応募書類は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

\*「応募書類1～3」はHP内より様式をダウンロードし、パソコンまたは手書きにてご記入ください。  
\*履歴書は内容が網羅されていれば書式は問いません。

### 処遇

**身分:** 准職員 医員(研修医)  
**給与:** 月額9,075円+諸手当  
※月額およそ30万円(税込み)  
**諸手当:** 宿日直手当、超過勤務手当、  
特殊勤務手当、通勤手当等  
**勤務時間:** 8時30分～17時15分  
**休暇:** 年次有給休暇(6ヶ月勤務後に10日間、2年目は11日間付与)  
リフレッシュ休暇(3日間)、忌引休暇、産前産後休暇、病気休暇等  
**社会保険など** 健康保険、厚生年金、雇用・労災保険  
**医師賠償責任保険** 病院として加入しているほか、個人としても加入

詳しくはHPを御覧ください。<https://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp>

お申し込み・お問い合わせ

東北大学病院卒後研修センター (総務課臨床研修係)

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 Tel. 022-717-7765 Fax. 022-717-7143

✉ [hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp](mailto:hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp)

<https://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/>

東北大学病院 卒後

検索

